

学びの広場

地域で学び、活動する
皆さんを応援します
北秋田市教育委員会

- 公民館活動 ●生涯学習
- 文化振興 ●学校 ●スポーツ



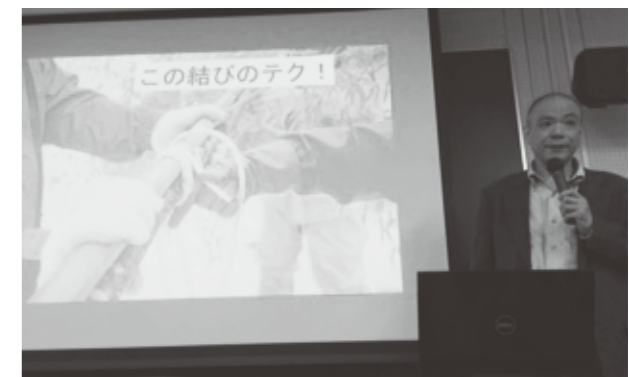
「高齢者がひらく新しい未来」

～長寿社会における生涯学習政策－東大フォーラム～
「高齢者による地域活性化促進事業・東大フォーラム」が、3月24日に東京大学で行われました。

このフォーラムは、各地で取り組まれている高齢者の社会参画促進事業のネットワーク化を進めることを目指して文部科学省と東京大学が開催したものを。全国から北秋田市と大分市がモデルに選ばれ『おさるべ元気くらぶ』の地域活動と公民館講座『Gちゃんサミット』の取り組みが発表されました。

おさるべ元気くらぶ事務局の佐藤俊晃氏は、300年の歴史がある「葛黒火まつりかまくら」の15年

ぶりの復活にかける地域の願いや高齢者の活躍する姿などを発表し、多くの参加者の共感を呼びました。



▲東大で北秋田市の事例発表を行う佐藤俊晃氏

音楽館がミニわらび座に

～浜辺の歌音楽館第90回定期演奏会～

劇団わらび座の俳優岡村雄三さん・碓井涼子さん、ピアノ伴奏の飯島優さんによる「劇団わらび座ミニコンサート」が、3月19日に浜辺の歌音楽館で開催されました。

成田為三の「浜辺の歌」・「赤い鳥小鳥」のほか、民謡や童謡、ミュージカル曲など多彩な曲目が演奏され、中でも話題を集めたわらび座のミュージカル「為三さん！」から一曲が披露されると、来場者はじつくりと聴き入っていました。

また、岡村さんのギター演奏やお得意の声帯模写

が飛び出すと客席に笑顔が溢れ、演奏者と会場が一体となった心温まる楽しいコンサートとなりました。



▲心に響く歌で来場者を魅了した定期演奏会

新公民館長が就任しました

～2年間よろしくお願いします～

任期満了に伴い、各地区公民館の非常勤館長が新たに任命されました。新館長の任期は平成28年4月1日から平成30年3月31日までの2年間で、各公民館の講座や行事等を企画します。

公民館へのご要望などがありましたら、各地区の公民館までお寄せください。



北秋田市民ふれあいプラザ「コムコム」からのお知らせ
●生涯学習係 ☎62・1130
「こども・ねまーる広場」
 1歳から入園前の子どもと保護者を対象に「こども・ねまーる広場」を開催します。絵本の読み聞かせや、工作を楽しみます。おじいさん、おばあさんも大歓迎です。
日時 5月9日(月)10時～11時30分
 ※毎月第2月曜日開催します
会場 北秋田市民ふれあいプラザ「ねまーる広場」
入場料 無料
■コムコム内「チャレンジブース」オープン
 起業を目指す次の方々々がチャレンジしますので、ぜひお越しください。
▽街なかマルシェ
 農産品及び農産品加工品を販売します。市内の手芸グループも参加する予定です。
代表 佐藤篤子さん
時間 9時30分～13時 ※延長あり
▽Luxage(ルクサージユ)
 健康美を求める女性向けのサロンです。秋田県では初となる「腸楽セラピー®」を中心に、アロマリンパトリートメントなどもお勧めです。オープンイベントの際は、特別価格で施術します。
◎ベビーマッサージレッスンやベ

ピーヨガレックスも月1～2回開催する予定です。(対象1か月健診後)
代表 梅井沙織さん
時間 10時～18時
 ※詳しくはお問い合わせください。
長崎邸のGW一般公開&七日市出身の画家長崎千春氏の絵画展を開催
●申込 おさるべ元気くらぶ 長崎賢一 ☎090・61001・8906
 江戸時代後期、文政18年(1830年)建築で藩主佐竹公の本陣を務めた肝煎り住宅の内部の公開と、七日市出身の油絵画家、長崎千春氏の絵画展を開催します。
※期間中はガイドがご案内します。
期日 5月3日(火)～5日(木)
時間 10時～15時
場所 北秋田市七日市「長岐邸」
入場料 無料 ※駐車場あり
浜辺の歌音楽館青少年合唱団 団員を募集
●申込 文化係 ☎62・6618
 郷土出身の作曲家、成田為三先生の作品を中心に、いろいろな曲を楽しく歌い活動しています。素敵なメロディーを歌い継いでいきましょう。
対象 小学校1年生～高校3年生
練習日時 毎週土曜日 9時～12時
練習場所 森吉コミュニケーションセンター
参加費 月1000円(後援会費)

ふるさとの文化財

「縄文時代編」

6

○貝輪を模倣した土製腕輪 (向様田D遺跡出土)

向様田D遺跡は、森吉山の北裾を流れる小又川にある遺跡です。森吉山ダム建設工事のため調査され、遺跡のあった場所は今、ダムの湖底となっています。

この腕輪は、オオツタノハという貝を加工して製作された「貝輪」をまねて作られたと考えられる土製の腕輪です。貝輪は手首や腕に装着した装身具の一種です。

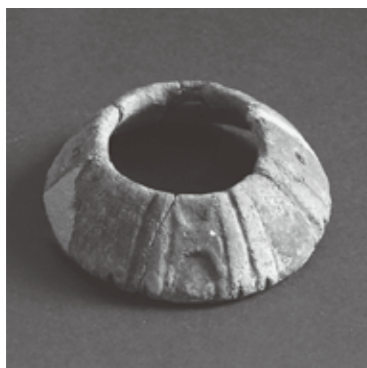
オオツタノハは笠貝という貝の仲間です。アワビのように岩場にへばり付いている、やや扁平で中央

が盛り上がった形の貝です。貝表面の放射状の模様が特徴的で、貝輪はこの貝殻の縁の部分を残して貝殻の殻頂(一番高く盛り上がった部分)を含む中央部分を打ち欠いてリング状に整形したものです。

オオツタノハは、日本では伊豆諸島南部以南や大隈諸島・トカラ列島など南海にしか生息しない貝ですが、オオツタノハ製貝輪は、

出土数は多くないものの北海道を含む東日本各地で出土しています。向様田D遺跡の土製腕輪はこの貝輪の特徴をよく写し取っており、おそらくは実物の貝輪を見て作られたものと思われます。また、この腕輪は破損し割れた痕跡がありますが、割れ目の両側に孔をあけ紐でしばったり、天然のアスファルトを塗り接着した跡があり、修繕しながら大切に使用していた様子が見えられます。

この土製腕輪は、オオツタノハ製の貝輪が遠く南海から外洋を渡り、多くの手を経て北秋田の山間の地へもたらされた事実を間接的に示すもので、想像以上に広範にわたる縄文時代の物資流通を伝える資料の一つです。



▲貝輪を模倣した土製腕輪

▽紹介者/北秋田市教育委員会生涯学習課文化係